下 巻 目 次

第3部　事実認定

第16講　事実認定総論 ……530

I　概　説 ……530
1　事実認定の対象 ……530
2　事実認定の方法 ……531
One Point Lecture!　原告または被告が複数の場合の留意点 ……531
3　証拠方法 ……531
(1)　文書送付嘱託（民訴226条）……532
(2)　調査嘱託（民訴186条）……532
(3)　書面尋問（民訴205条）……532
(4)　鑑定（民訴212条以下）……533
(5)　弁論の全趣旨 ……533
(6)　証拠能力 ……533
II　証明度 ……534
1　高度の蓋然性 ……534
2　具体例の検討 ……535
(1)　ルンバール事件 ……535
(2)　バレーボール事件 ……536
3　刑事事件との比較 ……537
One Point Lecture!　どのような証拠が必要か？ ……537
One Point Lecture!　事実認定は民事裁判と刑事裁判とで異なるか？ ……540

Ⅲ　経験則 ……540
1　意　義 ……540
2　役　割 ……541
3　経験則と上告理由 ……542
Ⅳ　直接証拠と間接証拠 ……543
1　意　義 ……543
〔図30〕直接証拠と間接証拠 ……544
2　具体例 ……544
(1)　不法行為の要件事実 ……545
(2)　A、B、C の証言 ……545
〔図31〕事実認定の構造 ……546
Ⅴ　本証と反証 ……547
coffee break　町　弁 ……本條裕子・547

第17講　書　証 ……549

Ⅰ　書証の申出 ……549
Ⅱ　文書の分類 ……550
1　公文書と私文書 ……550
2　原本、写し（謄本）、正本 ……550
(1)　原　本 ……550
(2)　写し・謄本 ……550
(3)　正　本 ……550
(4)　区別の重要性 ……551
Ⅲ　形式的証拠力（文書の成立の真正） ……552
【書式５】甲第１号証：借用証書（Case⑰－１、⑰－２）……552
1　文書の作成者 ……553
2　成立の真正についての認否 ……553

(1)　署名文書……554
(2)　押印文書……555
【書式６】押印文書：借用証書（Case⑰－１、⑰－３）……556
One Point Lecture!　印鑑、印章、印影、実印、銀行印、
三文判、認印、押印、捺印とは？……557
3　文書の提出と認否の記録化……557
【書式７】書証目録……557
4　成立の真正についての立証……559
(1)　成立を認めている場合……559
(2)　文書の成立の真正を争っている場合……559
〔図32〕２段の推定……562
5　推定が覆る場合……562
(1)　１段目の推定（事実上の推定）が覆る場合……562
One Point Lecture!　保管状況が悪かったことの責任？……566
(2)　２段目の推定（民訴228条４項）が覆る場合……567
6　実務の実情……568
7　その他の問題点……569
(1)　筆跡が争われている場合（Case⑰－２の③のケース）……569
(2)　印鑑による違い……569
(3)　文書の個数……570
(4)　代理文書……571
【書式８】代理文書：領収書……571
【書式９】署名代理：契約書……572
Ⅳ　実質的証拠力……575
1　実質的証拠力の意義……575
2　処分証書と報告文書……576
(1)　処分証書と報告文書の違い……576
(2)　処分証書の実質的証拠力……578

(3)　処分証書の留意点……579
(4)　報告文書の実質的証拠力……580
3　実務の実情……582
4　本来存在すると考えられる書証が存在しない場合……584
5　陳述書……585
V　まとめ……587
One Point Lecture!　証拠による認定の注意点……587
coffee break　何が問われているのか、何が問われていないのか
——答案の書き方……長谷川千鶴・587

第18講　証　言……590

I　総　論……590
〈表3〉書証と証言の形式的証拠力と実質的証拠力……591
II　証言の信用性……592
〔図33〕証言の信用性……593
1　証言の正確性……593
(1)　認識の正確性……593
(2)　記憶の正確性……595
(3)　表現の正確性……595
2　利害関係……596
3　証言内容の合理性・具体性・一貫性……597
(1)　証言の合理性……597
(2)　証言の具体性……598
(3)　証言の一貫性……598
(4)　留意点……599
4　動かしがたい事実（客観的事実）との整合性……600
One Point Lecture!　「動かしがたい事実」とは？……601

5　その他の点 ……602
(1)　証言態度 ……602
(2)　伝聞供述 ……602
Ⅲ　まとめ ……603
coffee break　企業内弁護士 ……乾井徳子・603

第19講　判断の構造 ……605

Ⅰ　判断の枠組み ……605
〈表４〉主要事実の認定判断の類型……606
Ⅱ　第１類型――直接証拠である処分証書等があり、その成立に争いがない場合 ……606
〔図34〕認定判断の第１類型の構造 ……607
Ⅲ　第２類型――直接証拠である処分証書等があり、その成立に争いがある場合 ……608
1　成立の真正に関する争い方による分類 ……608
〈表５〉成立の真正に関する争い方による分類……609
2　文書の真正な成立の立証方法……610
〔図35〕認定の段階 ……611
Ⅳ　第３類型――直接証拠である処分証書等はないが、直接証拠である証言がある場合……611
1　一般的に信用性の高い証言がある場合 ……611
〔図36〕総合判断型と証言認定型……613
2　当事者や関係者の証言が直接証拠である場合 ……614
〔図37〕間接事実から主要事実を推認するイメージ……615
Ⅴ　第４類型――直接証拠である処分証書等も直接証拠である証言等もない場合 ……615
1　間接事実とは ……615

2　強い間接事実と弱い間接事実……617
3　総合評価……617
One Point Lecture!　間接証拠から認定する場合の注意点……618
4　間接事実（補助事実）の役割……618
〔図38〕間接事実の証明度と関連性……621
5　まとめ……621
Ⅵ　判断類型のまとめ……623
One Point Lecture!　各判断類型のポイント……625
Ⅶ　判断の順序……625
1　原　則……625
2　留意点……626
coffee break　弁護士という職業……和田　香・627

第20講　事実認定を深める……629

Ⅰ　争点整理……629
1　争点の立て方……629
2　それが争点になるか……631
3　前提事実の確認……632
Ⅱ　事実認定にあたっての留意点……633
1　行為前後の事実も押さえる……633
2　全体と細部……634
Ⅲ　当事者の真意を探る……635
1　第１のケース……635
2　第２のケース……639
3　第３のケース……640
4　第４のケース……645
Ⅳ　事実認定と評価……646

1　規範的要件 ……646
〔図39〕規範的要件についての判断構造 ……647
2　黙示の意思表示 ……648
V　評　価 ……650
〔図40〕最高裁の判断構造（Case⑳－7）……656
coffee break　自分だけの3年間 ……寺山倫子・659

第21講　紛争類型別の事実認定 ……661

I　消費貸借契約 ……661
1　金銭の授受が争われた場合 ……661
2　貸金か贈与か ……662
3　貸金か出資金か ……663
II　保証契約 ……664
1　要式行為 ……665
2　保証契約を推認させる間接事実 ……666
(1)　保証人と主債務者との人的関係 ……666
(2)　保証契約締結の経緯 ……666
(3)　保証契約締結後の事情 ……667
3　具体的事例 ……667
III　弁済および弁済の提供 ……668
1　弁　済 ……668
2　弁済の提供 ……668
IV　売買契約 ……669
1　売買か贈与か ……670
2　売買か賃貸借か ……670
V　賃貸借契約 ……671
VI　「善意」と「悪意」 ……671

Ⅶ　境界確定訴訟 ……672
Ⅷ　事実認定が難しい事件 ……673
1　いわゆるセクハラ事件 ……673
2　保険金請求事件 ……674
3　痴漢事件 ……677
Ⅸ　和解（補論） ……686
1　第１のケース ……687
⑴　検　討 ……687
⑵　和　解 ……688
2　第２のケース ……689
3　まとめ ……690
coffee break　勉強し続けることの難しさ ……武政祥子・690

第22講　実践に向けて ……692

Ⅰ　起案の方法 ……692
1　事実認定の起案とは ……692
2　サマリー起案の方法 ……692
⑴　争　点 ……692
⑵　判断の構造 ……693
⑶　争点に対する判断 ……693
Ⅱ　検討例１ ……693
Ⅲ　検討例２ ……699
Ⅳ　事件記録検討にあたっての参考事項 ……704
1　時系列 ……704
2　証言対比表 ……705
〈表６〉証言の比較対照表（例） ……706
〔図41〕配置図 ……707

coffee break　渉外法律事務所 ……田端公美・707

第４部　演習問題

第23講　要件事実問題１ ……712

要件事実問題１ ……712
Ⅰ　解　説 ……713
1　**訴訟物** ……713
(1)　Ｘの言い分の解釈――処分権主義 ……713
(2)　訴訟物の特定 ……713
(3)　訴訟物の個数 ……714
2　**請求原因** ……714
Ⅱ　検討例 ……716
coffee break　今も思い出す特別研修と考査試験 ……若槻美帆・719

第24講　要件事実問題２ ……721

要件事実問題２ ……721
Ⅰ　訴訟物 ……722
Ⅱ　ＸおよびＹの攻撃防御方法 ……723
1　**請求原因** ……723
2　**抗　弁** ……724
(1)　債務不履行解除（民541条） ……724
(2)　商事消滅時効（商522条） ……725
(3)　同時履行 ……726

3　再抗弁 ……726
(1)　債務承認（抗弁２に対し） ……726
(2)　商事債権でないこと（抗弁２に対し） ……727
〔図42〕ブロックダイアグラム（要件事実問題２）……728
coffee break　若手司法記者の日々
～わかりやすい記事とは？ ……岩﨑万季・728

第25講　要件事実・争点整理問題１ ……730

要件事実・争点整理問題１ ……730
Ⅰ　参考例 ……732
Ⅱ　要件事実の構造 ……734
Ⅲ　争　点 ……734
〔図43〕ブロックダイアグラム（要件事実・争点整理問題１）……735
1　形式的争点 ……735
2　実質的争点 ……735
(1)　Ｙの保証契約……736
(2)　譲渡禁止特約につきＸの悪意または重過失 ……736
(3)　ＢからＸへの平成24年７月１日の承諾 ……736
3　争点整理のまとめ ……737
coffee break　人権大会に参加して ……副島久満子・737

第26講　要件事実・争点整理問題２ ……739

要件事実・争点整理問題２ ……739
Ⅰ　要件事実 ……741
1　主張の位置づけ ……741
2　判断の順序 ……742

3　債務不履行解除 ……743
(1)　位置づけ ……743
(2)　債務不履行解除の要件事実 ……743
(3)　代物弁済の要件事実 ……744
4　相　殺 ……745
(1)　位置づけ ……745
(2)　代物弁済 ……745
(3)　相殺の要件事実 ……745
II　参考例 ……747
III　争　点 ……748
〔図44〕ブロックダイアグラム（要件事実・争点整理問題２）……749
1　形式的争点 ……749
2　実質的争点 ……750
coffee break　不安の中で、自分を信じて ……吉田素子・751

第27講　要件事実・争点整理問題３ ……753

要件事実・争点整理問題３ ……753
I　訴訟物 ……754
1　原告による選択 ……754
2　物権的請求権の訴訟物 ……755
3　建物収去との関係 ……755
4　訴訟物の個数 ……756
5　結　論 ……756
II　事実整理 ……756
1　請求原因 ……756
(1)　所有権に基づく明渡請求の基本形 ……756
(2)　X 所有 ……756

(3)　Y 占有……756
2　抗　弁……757
(1)　所有権喪失の抗弁……757
(2)　占有権原の抗弁……757
〔図45〕占有権原の抗弁の位置づけ……759
3　再抗弁……760
(1)　所有権留保特約……760
(2)　債務不履行解除……760
4　再々抗弁（弁済の抗弁）……761
(1)　位置づけ……761
(2)　弁済の要件事実……762
Ⅲ　検討例……762
Ⅳ　争　点……764
1　形式的争点……764
〔図46〕ブロックダイアグラム（要件事実・争点整理問題３）……765
2　実質的争点……765
coffee break　人とのつながりの大切さ・ありがたさ …吉田靖子・766

第28講　要件事実・争点整理問題４……768

要件事実・争点整理問題４……768
Ⅰ　訴訟物……770
1　訴訟物の特定……770
2　訴訟物と終了原因との関係……771
3　契約更新との関係……771
4　訴訟物と収去義務との関係……772
5　訴訟物の個数……772
Ⅱ　事実摘示……773

1　請求原因 ……773
(1)　賃貸借契約終了に基づく目的物返還請求の基本形 ……773
(2)　請求原因１――民法上の期間満了 ……773
(3)　請求原因２――賃料不払いによる債務不履行解除
（民法上の賃貸借）……774
(4)　請求原因３――賃料不払いによる債務不履行解除
（借地借家法上の賃貸借）……776
〔図47〕請求原因１と請求原因２の関係
（要件事実・争点整理問題４）……777
(5)　請求原因のまとめ ……778
2　抗　弁 ……778
(1)　抗弁１――建物所有目的（請求原因１に対し）……778
(2)　抗弁２――黙示の更新（請求原因１に対し）……779
(3)　背信性の評価障害事実（請求原因２および３に対し）……780
3　再抗弁 ……780
(1)　再抗弁１――一時使用の再抗弁（抗弁１に対し）……780
(2)　再抗弁２――更新合意の不成立（抗弁２に対し）……782
4　再々抗弁――一時使用の評価障害事実 ……782
Ⅲ　検討例 ……783
Ⅳ　争　点 ……785
〔図48〕ブロックダイアグラム（要件事実・争点整理問題４）……786
1　本件の争点 ……786
2　各争点の検討 ……787
(1)　建物所有目的、一時使用 ……787
(2)　更新合意の不成立 ……787
(3)　無催告解除 ……788
coffee break　社会人経験と司法試験と私 ……西原文子・788

第29講　要件事実・争点整理問題５ ……791

要件事実・争点整理問題５ ……791

Ⅰ　訴訟物 ……794

1　主たる請求 ……794

2　附帯請求 ……794

Ⅱ　事実整理 ……795

1　請求原因 ……795

(1)　有権代理の要件事実 ……795

(2)　消費貸借契約の要件事実 ……795

(3)　利息請求権 ……796

(4)　遅延損害金 ……796

(5)　弁済期の事実摘示 ……796

(6)　民法109条の表見代理 ……797

(7)　民法112条の表見代理 ……797

〔図49〕民法112条の主張（再抗弁説） ……798

〔図50〕民法112条の主張（予備的請求原因説） ……799

2　抗　弁 ……799

(1)　抗弁１――代理権消滅 ……799

(2)　抗弁２――代理権濫用（悪意または過失） ……800

(3)　抗弁３――相殺 ……801

3　再抗弁 ……804

(1)　再抗弁１――民法112条（抗弁１に対し） ……804

〔図51〕相殺の抗弁の全体像（要件事実・争点整理問題５） ……805

(2)　再抗弁２――過失の評価障害事実
（抗弁２の過失の評価根拠事実に対し） ……805

Ⅲ　検討例 ……806

Ⅳ　争　点 ……808
1　形式的争点 ……808
2　実質的争点 ……808
〔図52〕ブロックダイアグラム（要件事実・争点整理問題５）……809

第30講　事実認定問題 ……811

Ⅰ　記録の検討方法 ……811
1　記録の構成 ……811
(1)　３分方式 ……811
(2)　本書での確認 ……812
(3)　まとめ ……812
2　事件記録を読む際の留意点 ……812
(1)　調書の記載事項の確認 ……813
(2)　各主張書面の検討 ……813
(3)　証拠の検討 ……814
事実認定問題 ……815
Ⅱ　事件記録 ……815
［資料１］民事第一審訴訟事件記録表紙 ……815
［資料２］第１回口頭弁論調書 ……816
［資料３］第２回口頭弁論調書 ……817
［資料４］第３回口頭弁論調書 ……818
［資料５］第４回口頭弁論調書 ……819
［資料６］第５回口頭弁論調書 ……819
［資料７］第６回口頭弁論調書 ……820
［資料８］訴　状 ……821
［資料９］答弁書 ……824
［資料10］被告第１準備書面 ……825

［資料11］原告準備書面１ ……827
［資料12］被告第２準備書面 ……829
［資料13］被告第３準備書面 ……830
［資料14］原告準備書面２ ……832
［資料15］書証目録（原告提出分）……833
［資料16］書証目録（被告提出分）……835
［資料17］証人等目録（原告申出分）……835
［資料18］証人等目録（被告申出分）……836
［資料19］全部事項証明書（土地）（甲１の１） ……837
［資料20］全部事項証明書（土地）（甲１の２） ……838
［資料21］売買契約書（甲２）……838
［資料22］委任状（甲３）……840
［資料23］印鑑証明書（甲４）……841
［資料24］手付金支払証明書（甲５）……841
［資料25］不動産購入申込書（甲６）……842
［資料26］残代金の覚書（甲７）……843
［資料27］業務日誌（甲８）……844
［資料28］陳述書：結城康介（X）（甲９） ……846
［資料29］陳述書：馬場元明（B）（甲10） ……849
［資料30］陳述書：戸取謙治（Y）（乙１） ……852
［資料31］陳述書：銭形平一（Z）（乙２） ……854
［資料32］証人調書：馬場元明（B）……855
［資料33］証人調書：銭形平一（Z）……860
［資料34］本人調書：結城康介（X）……866
［資料35］本人調書：戸取謙治（Y）……868
Ⅲ　第１分類を読み終えて ……874
1　**訴訟物** ……874
2　**要件事実** ……874

(1)　請求原因……874
(2)　認否等……874
(3)　争　点……875
Ⅳ　第2分類を読み終えて……875
Ⅴ　争点についての結論およびそれに至る理由……876
1　かめくんの報告内容……877
2　Yは白紙に署名押印したか……878
3　民訴法228条の推定は覆ったか……880
4　直接証拠である証言の信用性の検討……882
5　代理権授与を推認させる間接事実……885
6　代理権授与の推認を妨げる間接事実……889
7　おわりに……890
〔図53〕代理権授与はあったか……891
coffee break　答案に表現する力……日野正実・903
・エピローグ……906

・事項索引……908
・判例索引……915
・著者略歴……920

〈上巻目次〉

第1部　基本構造・訴訟物
第1講　民事訴訟の基本構造……6
第2講　訴訟物……39
第2部　要件事実
第3講　要件事実総論……62
第4講　売買に関する請求1……90
第5講　売買に関する請求2……117

第 6 講　売買に関する請求 3 ……153
第 7 講　売買に関する請求 4 ……191
第 8 講　貸金・保証に関する請求 ……222
第 9 講　不動産明渡しに関する請求 ……251
第10講　不動産登記に関する請求 ……308
第11講　賃貸借に関する請求 1 ……356
第12講　賃貸借に関する請求 2 ……402
第13講　動産・請負に関する請求 ……429
第14講　債権譲渡に関する請求……453
第15講　その他 ……490